



東米ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成25年5月10日発行
発行責任者 安次峰 暁
編集責任者 別処尚志
E-mail:satoru_ajimine@hotmail.co.jp
<http://homepage2.nifty.com/35292/>

<総会特集号Ⅱ> 4月21日(日)に、成美教育文化会館にて第19回定時総会が開催され、平山会長から安次峰新会長へとバトンリレーが行われました。

新会長就任挨拶

東久留米稲門会会長 安次峰 暁

只今、この総会で東久留米稲門会の会長としてご承認していただきました、安次峰暁でございます。私は沖縄県那覇市の生まれで、那覇高校の出身であります。昭和45年社会科学部の卒業です。

東久留米稲門会に入会して16年程になります。入会当初、数回会合に参加してみて、なんとあたたかく、又、なんと活気のある会なのだろう、という印象を受けたことを記憶しております。

この度、平山会長が退かれるということで、後任にと推されましたが、安宅初代会長を初め、高橋二代目会長、帆角三代目会長、市川四代目会長、そして平山前会長と歴代の会長があまりにもスケールが大きく、又、立派な方々ただだけに、何と格段に見劣りするような自分が・・・と尻込みしたい気持ちにかられておりました。

しかも、平山前会長が、事務局長であった私の立場から見ていて、会を引っ張っていく大きな力を持っていることや、困難なことも難なくやりこなしていることを見てきました。そういうことで、この度は大変に重責を感じているところであります。

今回の役員改選で新しい幹事として、会計監事から塚越さんが、そして新たに小牧さん、菊池さん、後藤さん、船津さん、村上さんに加わってもらっております。そして、副会長に河村さんと、新たに藍原さん、渡辺さん、別処さんが就任し、事務局長に高橋さん、事務局次長に小山田さん、会計監事に幹事から東海さんがそれぞれ就任して頂いております。それから、心強い12名の方々にも留任頂いておまして、新体制として、ご支援して頂けることを期待しております。

東久留米稲門会は来年20周年を迎えるわけであります。歴代の会長が築いてこられた今ある東久留米稲門会の伝統を引き継いでいって、守っていくことを、新事務局長の高橋さんをはじめ役員、部会長の方々のご支援を受けて果たして参ります。

そして、これまで会を文字通り引っ張って行ってくださいました、平山会長、井坂副会長、竹山副会長、鮎貝幹事、山岡幹事が退任されました。永きにわたりご活躍をされましたことに対しまして心より御礼申し上げますと共に、ご健康に留意されまして、今後とも引き続きご支援下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

これから来年の20周年に向けて検討を進めて参る所存です。会員の皆様がたのお力添えとご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。新任の挨拶とさせていただきます。



安次峰暁新会長

会の告知板

5月17日(金)	ゴルフ部会春の例会 「熊谷ゴルフクラブ」	08:00	スタート
5月26日(日)	ウォーキングを楽しむ会「川越」	09:00	東久留米駅集合
5月30日(木)	映画鑑賞会「モンパルナスの灯」	14:00	成美教育文化会館
6月1日(土)	東京六大学野球早慶戦	10:45	東久留米駅集合
6月1日(土)	囲碁部会 第13回早稲田囲碁祭		
6月2日(日)	第1回役員会	16:00	生涯学習センター
6月7日(金)	三田会との対抗戦 「熊谷ゴルフクラブ」	08:00	スタート
6月16日(日)~17日(月)	旅行同好会 「谷川・照葉峡・鎌田温泉・丸沼・奥日光の旅」		
		16日 07:50	東久留米市役所集合

[大学・校友関係]

4月27日(土)	東久留米三田会総会開催	当会より安次峰会長、河村副会長、高橋事務局長出席
6月2日(日)	西東京稲門会総会	当会より藍原副会長、河村副会長出席予定

<稲門祭記念品購入のお願い>

毎年恒例の稲門祭記念品の購入のお願いです。収益が全額「校友会奨学金」となり、在学生への支援となります。すでに役員会、定時総会で記念品の購入をお願いしましたが、総会に出席されなかった会員の皆様にも是非購入をお願いいたします。2千円コースから1万円コースまで9品目あります。同封のリーフレットをご覧ください。品目を指定して下記稲門祭実行委員までお申込みください。

締め切りは5月末日。代金は記念品と引き換えです。

稲門祭実行委員 別処 尚志 TEL&Fax042-475-1710 090-7947-2316 <t.bessyo@hotmail.co.jp>

小山田朋樹 TEL&Fax042-478-6430 090-1884-7157 <QZR12263@nifty.com>

※尚、役員の方で購入希望の取りまとめを依頼された方にお願ひします。購入希望の一覧表と代金を6月2日の役員会にご持参されるよう、お願いいたします。

[会の報告]

東久留米稲門会 第19回定時総会の開催

平成25年4月21日(日) 成美教育文化会館で第19回定時総会開催された。

第一部 文化講演会 渡辺真司幹事の司会で倉田秀道早稲田大学スキー部監督による「勝利の裏側にあるもの」というタイトルの講演会が行われた。内容は、スキーという個人競技における個人の競技能力向上と大学スキー部のチーム力向上の両方を目指すための監督の役割についてであった。

第二部 定時総会 河口俊二早稲田大学地域担当副部長、近隣稲門会、東久留米三田会の各来賓含め60名参加。渡辺真司幹事の司会で始まり、来賓ご紹介、平山会長挨拶、議長選出の後議事に入り、平成24年度事業報告・決算報告・会計監査報告、平成25年度事業計画・収支計画が承認され、続いて平成25年度役員改選が提案され新会長に安次峰暁氏が選出された。その後、副会長以下の新役員紹介と安次峰暁新会長の挨拶が行われ、河口俊二早稲田大学地域担当副部長の来賓祝辞があり、最後に別処尚志新副会長から稲門祭記念品販売の協力お願いがあつて閉会した。



倉田秀道スキー部監督



平山正徑前会長

平山前会長挨拶

本日はご多忙のところ第19回定時総会にご参加いただき心より御礼申し上げます。

先程早稲田大学スキー部倉田秀道監督の講演会では「勝利の裏側にあるもの」をお聞かせいただき、特に「早稲田への熱い気持ちが全て」と改めて教えていただきました。

当会総会も会を重ねて19回目となり、来年は20周年の節目を迎えることとなります。4年前会長に就任してからも当会はこの間一貫して「会員相互の親睦を図り、早稲田大学および東久留米市の発展に寄与する」を掲げ、

先代が築いて来られた流れそのままに会主催の懇親会、部会活動、広報活動を中心にその役割を果たして参りました。

然しながら「東久留米に稲門会があつて良かった」と云う仲間の声を沢山聞いて、会の根幹である会員数の増加を図るため、未入会の50～70歳の年代を区切った校友約250人に毎年7月、東稲ニュースを増刷配布、また昨年は20～30歳代の校友にも呼び掛け、当会への入会を促して参りましたが、会員数は155名から163名の間を行ったり来たりで、やり残した感があります。引き続き会の基本的課題として会員の維持、拡大に努めて行かねば成らないと考えております。今年創立20周年の助走に当たる総会であり、このあと6つの議案をお諮りいたしますので、ご審議賜りますようお願いいたします。

最後に非力な会長ではありましたが、どうかこうにかやって来られたのは、役員、部会長、会員、及びその奥様方のご支援、ご協力のお陰であり、心より感謝申し上げます。そして何よりも自分自身が楽しませて頂いた事をご報告し、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

第三部 懇親会 藍原昌義新副会長が司会を務め、講演会講師の倉田秀道早稲田大学スキー部監督も参加された。松尾良久西東京稲門会副会長、佐藤柳次郎東久留米三田会特別顧問の来賓祝辞があり、安宅武一初代会長の乾杯発声の後、会は和やかに進み、新会員の挨拶もあって、大いに盛り上がりあつという間に閉会の時刻になり、高橋勤第二代会長の閉会挨拶に続いて大矢真弘幹事によるリードと大島勝典幹事のハーモニカで「若き血」と「早稲田大学校歌」を斉唱して散会した。
(別処尚志記)

(出席者)

【来賓】早稲田大学：河口俊二、三田会：佐藤柳次郎、島崎孝、清瀬稲門会：神山和夫、堀内知行、小平稲門会：国友康邦、小山雄一、西東京稲門会：松尾良久、東村山稲門会：當間昭治、滝川桜子、
【会員】藍原昌義、安宅武一、安次峰暁、鮎貝盛和、安藤信雄、井坂宏、石寺美弥子、市川英雄、伊藤卓、伊東毅、上田芳裕、榎本隆司、大島勝典、大矢真弘、小野泰右、小山田朋樹、梶井琢太、川上昇一、河村洋子、神田尚計、菊池伸明、吉川明美、久家政裕、国米家己三、呉淳久、小牧完次、後藤秀作、酒井正敬、佐々木純一、佐藤一郎、佐藤雄二、島田好多、清水正弘、白石春雄、高橋勤、高橋哲男、高柳康夫、橘優治、塚越崇、長束輝夫、長谷山勝美、比護喜一郎、菱山房子、平山正徑、船津高志、別処尚志、帆角信美、松崎博、松本弘也、村上万里、武藤豊、村野建彦、森川紀一、森田隆、山口謙二、山崎敬雄、米光慶二郎、渡辺真司、

(総会/懇親会収支報告)

収入：182,000円(会費+祝い金)、支出：204,647円(会場費14,000円、ケイタリング100,000円、寿司45,000円、飲料31,332円、配膳他14,315円)、▲22,647円は一般会計より補てん。



大矢真弘幹事のリードと大島勝典幹事のハーモニカ伴奏により校歌大合唱

新役員紹介 定時総会において承認され、下記の通りの執行部となりました。

会長：安次峰 暁（45年/社会学）

副会長：藍原 昌義（40年/法）、河村 洋子（41年/教育）、渡辺 真司（45年/商）、別処 尚志（46年/商）

事務局長：高橋 哲男（50年/政経）

事務局次長：小山田 朋樹（50年/教育）

幹事：森田 隆（37年/理工）、大島 勝典（38年/文）、伊東 毅（40年/商）、橘 優治（41年/商）、
小牧 完次（41年/法）、村野 建彦（42年/政経）、清水 正弘（43年/政経）、塚越 崇（43年/政経）、
菊池 伸明（46年/教育）、後藤 秀作（47年/教育）、小野 泰右（49年/文）、石寺 美弥子（53年/文）、
大矢 真弘（54年/文）、船津 高志（57年/理工）、呉 淳久（60年/教育）、村上 万里（60年/教育）、
会計監事：東海 俊孝（44年/政経）、吉川 明美（52年/教育）

平成 24 年度決算／平成 25 年度予算

平成 24 年度決算及び平成 25 年度収支計画が、下記の通り総会において承認されました。

平成 24 年度 東久留米稲門会収支決算書

平成 25 年度 東久留米稲門会収支計画

収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
年会費	480,000	総会費	78,100	年会費	480,000	総会費	100,000
(160名×3,000)		通信費	6,070	(160名×3,000)		通信費	20,000
組織強化補助金	248,000	印刷費	96,566	組織強化補助金	48,000	印刷費	90,000
預金利息	46	消耗品費	11,221			消耗品費	20,000
雑収入	12,289	交際費	55,000			近隣稲門会交流費	50,000
		交通費	2,240			交際費	20,000
		会議費	2,100			交通費	20,000
		部会補助金	100,000			部会補助金	100,000
		イベント補助金	39,012			イベント補助金	50,000
		寄付金	53,880			寄付金	80,000
		弔慰金	47,250				
		雑費	5,550			(支出計)	550,000
(収入計)	740,335	(支出計)	496,989	(収入計)	528,000		
前期繰越金	266,266	繰越金	509,612	前期繰越金	509,612	予備費	487,612
合計	1,006,601	合計	1,006,601	合計	1,037,612	合計	1,037,612

(監査報告) 東久留米稲門会規約第 7 条に基づき、平成 24 年度の決算書類について監査の結果、適正なることを認めます。平成 25 年 4 月 10 日 東久留米稲門会会計監事 塚越崇Ⓜ 吉川明美Ⓜ

[部会報告]

＜女性サークル活動報告＞

2月5日(火) 「山岡さんを囲む会」

東久留米駅北口の幸まる寿司で、2月5日(火)、女性サークルは、山岡恭子さんが都心の方へお引越しなさることとなり、退会となりますので「山岡さんを囲んで」の題の下に送別会をいたしました。山岡さんは東久留米稲門会の立ち上げのころから、会のために尽力なさり、私たちは大変お世話になりました。山岡さん、長い間ありがとうございました。(石寺美弥子記)

出席者：榎本幸子、岡野幸子、河村洋子、川島知子、吉川明美、長瀬邦子、菱山房子、山岡恭子、石寺美弥子

4月11日(木) 「護国寺とオルゴールの小さな博物館」

桜の花も既に散ったというのに肌寒い4月11日、女性サークルの企画で護国寺と「オルゴールの小さな博物館」を参加者6名で訪れました。

有楽町線護国寺駅を出るとそこは護国寺の仁王門で、門の両脇の仁王像が出迎えてくれました。護国寺は、1681年徳川5代將軍綱吉の生母桂昌院の発願により建立されたお寺です。仁王門から入って石段を登っていくと立派な護国寺の本堂があり、1697年に建てられてからほぼ創建当時のままに遺存し

ているとのことで重要文化財になっています。中に入ってみると、多くの仏像や綱吉直筆の字をもとに作った額などがありました。このお寺の柱は「開運柱」として有名だそうで、皆で柱を抱いてきました。護国寺の墓所に大隈重信公のお墓があるはずというので、お寺の方に尋ねて行ってみると、本堂のすぐわきに早稲田大学と彫られた石の鳥居があり、フェンスに囲まれた所に大隈公の大きな墓石やいくつもの石碑がありました。フェンス越しではありましたがお参りをしてきました。

その後、近くのレストランで昼食を済ませ、道路の反対側にある「オルゴールの小さな博物館」へ行きました。この博物館は、オルゴールを展示するだけでなく、オルゴールの演奏会も行っているのですが、開館30周年を区切りとし、今年の5月15日に閉館することが決まっています。そのせいか、平日にもかかわらずホールは30席はすぐに埋まり、立ち見ができるほどの盛況でした。

オルゴールの演奏会では、オルゴールの歴史や仕組みの説明があり、ホールにある十数台のオルゴール、手廻しのストリートオルガンや自動ピアノの演奏を聴くことができました。オートマタと呼ばれるオルゴール付きの自動人形は、人形の動きがとても複雑で驚きました。オルゴールは、円筒形の金属にピンを打ち込みそれを回して歯輪をはじいて音を出すシリンダー式から、大量に作れる円盤を使うディスク式への変化など多くの工夫や改良がありました。その後発明されたレコードにとって替わられましたが、オルゴールの時代は約100年続いたそうです。

オルゴールの個人収集家が造った「小さな博物館」ですが、昔の貴重なオルゴールについていろいろ知ることができました。帰りの電車でも話が弾み、楽しい一日となりました。

(吉川明美記)



4月11日参加者一同記念撮影



演奏会で演奏されたオルゴール



オートマタ(自動人形)

<お誕生会>

3月20日(水)17:30~「やる気茶屋」
最後のお誕生会開催

お誕生会は一旦休会です



Happy Birthday!

<俳句部会>

3月17日(日) 第153回句会
於：市男女平等推進センター
1F 会議室

兼題： 「卒業」、「菜の花」、当季自由題

やけ酒の苦き覚えて卒業す
追伸で誘い来る友春の旅
何事もなきかのごとく春の海
潮汁菜花を添えて祝膳
昏れてなほ花菜明かりや安房の空
卒業を待たずに征きたる学徒たち
菜の花の消えて三軒建ちにけり
春眠や明日出発の旅靴
卒業の文集眺め気恥かし
キャンパスを袴の闊歩卒業す
樹の息を風が梳き行く春の川
朝市の婆太つ腹山笑う
菜の花の表紙一杯旅雑誌

神田 尚計
神田 尚計
川島 知子
川俣 栄一
神田 尚計
杉本 達夫
三田 三 (畔巢)
棚野 愛子
馬場 清彦
河村 洋子
川俣 栄一
河村 洋子
棚野 愛子

*高得点 (3点) 句以上

4月20日(土) 第154回句会 於：市中央図書館 2F会議室(小)

兼題： 「花人」、「草若葉」、当季自由題

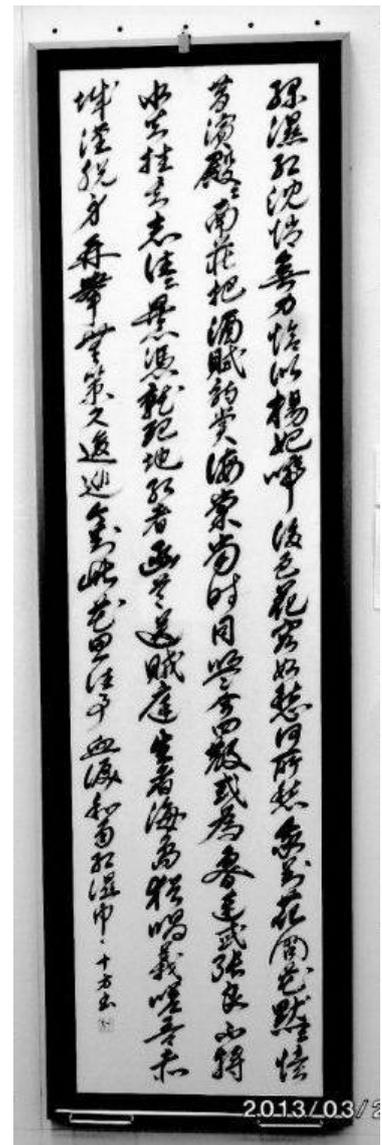
逝く春や列車待つ間の大あくび
バス停は椅子の一脚春の風
黄楊櫛で髪すくをみな春ともし
里の灯も下弦の月も朧かな
草若葉走り出す子と追う母と
古希となり花人となり隅田川
牛遊ぶ横利根堤草若葉
花人や隅田川舟風の歌
やわらかき土の匂ひや草若葉
行きはしやぎ帰り無言の桜人
何処からか猫来て座る花筵
君もまた花人なりや北上す

杉本 達夫
神田 尚計
河村 洋子
三田 三 (畔巢)
三田 三 (畔巢)
橘 優治
藤田 貞夫
川俣 栄一
棚野 愛子
市川 英雄
川俣 栄一
比護喜一郎

*高得点 (3点) 句以上

*2月17日開催第152回句会の選句(東稲 NS前号に掲載)に、神田尚計会員の作品「遅れ来るバスを待つ間の夜寒かな」の下五を「余寒かな」と誤植してしまいました。お詫びして訂正いたします。

(比護喜一郎記)



平山前会長の、第75回謙慎書道会展

特選謙慎賞受賞作品

部会だより

<ゴルフ部会より>

ご案内遅れましたが下記の通り開催します。どなたでも参加を歓迎致します。

- 1 稲門例会：5月17日（金）熊谷ゴルフクラブ 08：00 スタート、プレー費はセルフ、乗用カート、昼食付で12,030円
- 2 東久留米三田会との対抗戦：6月7日（金）熊谷ゴルフクラブ 08：00 スタート、プレー費はキャデイ付、乗用カート、昼食付で13,610円。今回が19回目の合同ゴルフ会で過去の戦績は5勝12敗1分けと当会は劣勢ですが最近では下馬評では稲門会優勢も新ペリアのハンディに恵まれず僅差で負けるということが多く稲門諸兄の奮起を期待します。
- 3 参加申し込み締め切り：稲門例会は今回の東稲ニュース発行前に締め切らざるを得ず、部会メンバー対象に直接案内致しましたことお詫び致します。三田会との対抗戦も5月14日締め切りで時間的余裕なく申し訳ありません。お問い合わせ・申し込みは伊東毅 Tel&Fax 042-471-7114、Eメール tsuyoshi_ito@tenor.ocn.ne.jp までご連絡下さい。（伊東毅記）



<太極拳部会より>

活動は毎週土曜日（一部休みあり）、成美教育文化会館にて午前10時～12時。

3月には、桜の木の下での恒例の野外稽古を計画するも2年連続雨。急遽、豪華な弁当を食べながらの懇親会に。テンション上がりすぎの声しきり……………

5月～7月も通常稽古。準備体操、楊名時健康太極拳、簡化24式太極拳を研鑽。新人も入会中なので、足並み揃えて今が入会の大チャンス。ぜひご参加ください。見学大歓迎！（渡辺真司記）



<書道部会より>

全国稲門会中ただ一つの書道部会。毎月第二日曜日、生涯学習センターにて13時～16時、宿題の作品の出来栄を先生が丁寧にチェック、指導。初心者もグングン上達します。ふるってご参加を……。

活動 1月 国際書画交流会（上野 東京都美術館） 14名 75点 出展

今後の活動 7月 初夏の部内展覧会 スタジオ105

10月 東久留米市民文化祭に出展 生涯学習センター

11月 書道部会 独自展覧会 成美教育文化会館

以上に向けて会員奮闘努力中！ 入会希望者は是非一度、稽古風景を見に来て下さい。楽しいですよ！（渡辺真司記）



<囲碁部会より>

平成25年度オール早稲田囲碁会のスケジュール概要が決まりました。

「第13回早稲田囲碁祭」：6月1日（土）開催 日本棋院市谷会館
（首都圏各稲門会別の団体戦及び個人戦）

「首都圏オール早稲田囲碁個人戦」：9月29日（日）開催 日本棋院市谷会館
（従来の「稲穂会」を改称したもので、現役学生も参加します。）

「第51回オール早慶囲碁フェスタ」、「第2回早慶どんぐり会囲碁交流戦」の2大会は、11月～12月の開催を目途に三田会と打ち合わせ中で、6月中には細部を決定する予定です。

東久留米稲門会囲碁部会は、従来通りの活動を維持しつつ西東京稲門会囲碁部会との交流を深めながら、これらの大会に極力参加し、活躍したいと思っています。なお、一時中断の雰囲気があった清華大との囲碁交流は先方の意向もあって、継続することになりました。高麗大との交流は目下不明です。

（荻草正守記）



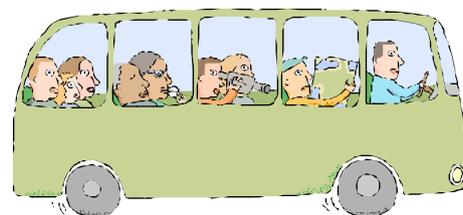
<旅行同好会より>

旅行同好会の旅行も第3回になりました。今回は日本三大岩場と云われる一の倉沢を望み、関東の奥入瀬溪谷と云われる照葉峽を見、東洋のナイアガラと云われる吹割の滝を観光し、さらに二日目にはなかなか見ることの出来ない日光白根山を見、金谷ホテルで昼食をしようと云うちょっと贅沢な旅にしました。

宿泊の鎌田温泉は沼田と尾瀬を結ぶ街道の秘湯と云われる温泉で、宿泊する梅田屋旅館には露天風呂もあり、旅の疲れを癒してくれます。全行程バスでこまめに休憩が取れますし、(日)～(月)と云う日程にしましたので大勢の方の参加をお待ちしております。



- ・期 日 : 平成 25 年 6 月 16 日 (日) ～17 日 (月)
- ・集 合 : 東久留米市役所前 午前 7 時 5 0 分
- ・行 程 : 16 日 (日) 東久留米市役所 8 : 00 = 上里 SA = 10 : 00 水上 IC = 10 : 40 一の倉沢
11 : 10 = 湯檜曾 = 12 : 00 水上高原ゴルフ場 (昼食) 13 : 00 = 照葉峽 = 尾瀬戸倉
= 15 : 00 吹割の滝 = 鎌田温泉 (梅田屋旅館) 泊
17 日 (月) 鎌田温泉 9 : 00 = 9 : 30 丸沼 (ロープウェイ) 山頂 (白根山観光)
(ロープウェイ) 丸沼 10 : 40 = 金精峠 =
= 湯滝・・・戦場ヶ原 11 : 40 =
= 12 : 10 日光金屋ホテル (昼食) 13 : 15 =
= 中禅寺湖・華嚴の滝観光 14 : 30 = いろは坂 =
= 今市 = 宇都宮 = 蓮田 SA = 所沢 IC =
= 17 : 30 東久留米



- ・会 費 : 3 万円
- ・参加を希望される方は 5 月 31 日 (金) までに下記までご連絡ください。
井坂 宏 4 7 7 - 1 6 3 2 (F A X 可) e-mail Isk-h112226@globe.ocn.ne.jp

<映画鑑賞会より>

映画鑑賞会 5 月 30 日(木) 午後 2 : 00～ 成美教育文化会館

『モンパルナスの灯』

従来美術家(画家)を素材にした映画は少なく(音楽家=作曲者は多い)、やっと 1950 年代に 3 本、画家の生涯を描いた秀作があった。ロートレックの「赤い風車」(1952 年)、ゴッホとゴーギャンの「炎の人ゴッホ」(1956 年)そしてこのモディリアーニの「モンパルナスの灯」(1959 年)であった。しかもこの作品はあえて白黒で撮影され、不遇な人生の悲劇性を印象付けた。



この映画は何と言っても主人公を演じるジェラルール・フィリップに尽きると思う。天性の気品を持ち夭逝していく美は、まさにモディリアーニそのものであり、フランス映画史に残る傑作になった。

ジェラルール・フィリップはもともと舞台出身であったが、15 年の映画俳優としては 26 本あり、うち日本では 15 本が封切られた。デビュー初期の「肉体の悪魔」(1947 年)と晩年の「モンパルナスの灯」が代表作であるが、その他にも文芸もの、活劇ものと幅広い役柄をこなし、1950 年代の特に知的な日本女性に圧倒的な人気を博したが、この作品の 1 年後に急逝した。36 歳であった。

モディリアーニを取り巻く人物達も適役であり、監督、脚本の J・ヘッケル、撮影の C・マトラ、音楽の P・ミラスキーなど一流で固め完璧な作品に仕上がった。上映時間 109 分 (米光慶二郎記)

特別寄稿「太田晴之助さんを偲んで」

37商卒 比護 喜一郎

太田さんの愛犬「ボギー」の散歩を折りに触れさせてもらうようになったのはどうしてだったか、何時からだっただかも定かではない。ただ、太田さんが保健所に曳かれてやがては生命を絶たれる運命にあるボギーを見て、「可愛そうだ。俺も独り身だ。飼ってやろう」と思い立った太田さんの心根に身近なものを感じて太田さんにより親しく、そしてボギーに急接近したことは覚えている。以来 太田さんとはボギーも交えて愉快的親交をさせていただき、旅行に、ゴルフに、グルメに、野球見物などなどに忘れがたい幾多の思い出を積み重ねてもらった。

太田さんは、日本古来の落語やイギリス仕込みの冗句をふんだんに織り交ぜ、かつ機知に富んだ話法で周りの人を惹きつけた。結構Y談や下ネタの話も得意だったが、不思議と話に下品に墮することがなく、それどころか妙に気品さえ感じさせるところがあった。

昨年11月24日その太田さんが急逝した。東久留米稲門会にぽっかり大きな穴が開いた。私の胸の内にも言いようのない空ろなものが広がった。後先も見分けられず、途方に暮れたと言うのはこういう時のことだろう。そして喜寿を迎える吾が事ながら思いも寄らない大粒の涙が溢れどうすることもできなかった。

私事になるが、太田さんの病に前後して私の家内も病に倒れた。太田さんは自分の病を横に置いて、私の妻のことを気に掛け心配してくださり、しばしば自身のために特別に仕入れた栄養剤や健康食を吾が妻に与えて、共に頑張ろうなどと話し合っていた。その太田さんが「お先に」と言わんばかりに急逝された。日頃太田さんが言っていた人生観そのものの、正鵠を得た表現ではないが鮮やかなとも言える終焉だった。が、しかし余りにも性急すぎて、悲しすぎて、無情すぎて病床の妻には太田さんの死を直ちに伝えることは出来なかった。

男気があって正義感が旺盛、しかし反面照れ屋で心優しい太田さんには当然豊かな友人・人脈があり、お陰でいろいろな人、いろいろな出来事に遭遇してもらった。挙げれば限がないが、東海村原子力発電所、早稲田野球部、落語会、グルメ会、東久留米三田会などがその一端である。太田さんは愛犬ボギーを介して地域の犬・愛犬家とも幅広い親交をしていた。太田さんに代わって、南沢界限をボギーと散歩に出かけると、犬連れの人たちからきまって声をかけられた。日頃飼い犬共々お世話になっている太田さんへのお礼の話や太田さんの近況についてである。

太田さんが自治会長として携わった南沢5丁目に大型ショッピングモールが出現した。これまでのボギーの散歩ルートは大幅に変更することになるだろうが、出来る限りボギーとの散歩はさせてもらいたいと思う。お世話になった太田さんとの約束であり太田さんへの弔いである。そして齢を重ねたボギーと私の脚のエクササイズのためでもある。妻の死亡と重なり太田さんの追悼記が半年後となってしまった。遅くなったが、お礼を言いそびれた亡妻の分も含めて、「太田さん、本当に色々とお難うございました。ゆっくりお休み下さい。いずれまた会いましょう。」と言わせて貰う。

妻がいなくなった我が家の居間に飾った太田さん形見の額絵が今日も私を和ませてくれている。

(平成25年4月29日)

東稲広報室

○新入会員：伊藤卓(62年/理工)、井上裕二(47年/法)、加賀谷久司(39年/商)、川島望(55年/商)、佐々木純一(46年/社会)、島貫崇(38年/理工)、杉山吉茂(大学教職員)、田口裕正(59年/理工)、納見美枝子(故会員ご令室)、森川紀一(45年/政経)、横山季里子(H17年/文)、

○退会：土屋久郎、辻田浩志(海外転居、帰国後再入会予定)

○平山前会長の「書」が、第75回謙慎書道会展において「特選謙慎賞」を受賞なさいました。受賞作品は6ページの俳句部会報告の右側に掲載しています。

1 はしがき

～誕生日が来ると「米寿」～ 有難い事に、今年の誕生日が来ると88才になります。子供のころ弱かったのが、この歳を迎えるなど全く予想もしなかった事です。そこで東稲ニュース編集からの投稿依頼を契機として、今までお世話になった感謝の意味も含め若干紙面を汚すことになりました。

2 私の体験

十中八九、実行している例を二つと、思いはあっても難航している例の一つ挙げますと2-1 車内で席を譲られたら、立ってくれた人だけでなく、周りの人にも聞こえるような大きな声で「ありがとう」と言って、その席に座らせて貰う様に努力しています。2-2 横断歩道の信号 歩行者側の信号「青」が点滅し始めたら渡らない。最近歩行の速度が目立って遅くなったので仕方ありません。2-3 テレビ視聴時間の短縮 今から10年ほど前に、尊敬する或る友人からテレビを全く見ない、と聞いて驚いた記憶があり、その言葉を忘れた事はありませんが、中々で、せめて見る時間を減らしたいと挑戦しています。テレビを見る時間を減らした分、寝室でラジオを聴いています。その時30分で切れるタイマーをセットして、部屋の照明を消しています。殆どの場合30分以内で寝てしまいます。

3 私の提言

～釈迦に説法～ 近い内に参院選ですが、最近メディアの一部に棄権を誘導する向きもあり困ったものです。さらに日頃真面目な人達や、また何時も厳しい発言をなさる方の中に、いざ大切な選挙の時に棄権する人を見るのも残念なことです。また「気に入った候補者がいない」と言って棄権する人もあるそうです。でも選挙権を得て60年以上の経験からすると、それは「無いものねだり」だと思います。100点満点で30点でも40点でも1点でも多い人を選んで、その後ハッパを掛けるしかないでしょう。投票しない理由として「政治家に対する不満の意志表示」だとする考え方は間違っていると思います。それは恰も「白紙委任状」を渡すのと同じになり、大変危険な行為ではないでしょうか。

また十人十色の考えがあつて当たり前のごとで、極自然の事と思います。だからこそ投票率を上げることが大切なのです。そうは言っても考えるタネは主として新聞・ラジオ・テレビを頼るしかなく中々難しいところです。ラジオとテレビを比べると、おなじNHKでもラジオの方がやや信頼出来ると個人的には感じますが如何でしょうか。

そして、お寺の法事や教会の礼拝は日曜日が多いので、終わってからと思いつつ、心ならずも投票時間に間に合わなくなるのかも知れません。今は「期日前投票」が割りに簡単に出来るので、これを利用する人も増えているようです。これを活用するのも良いでしょう。「棄権は危険」だと私は思いません。繰り返しになりますが、自分で考えて投票したいものです。「釈迦に説法」ですみません。

<編集後記>

早稲田の杜の新入生たちも少し落ち着いてきた頃か。勉強にサークル活動にと夢膨らむ良い季節。あの頃の熱いハートを思い出す我が「東久留米稲門会」。定時総会も無事終了、安次峰新会長以下新役員体制で2013年度がスタート。東稲ニュース編集担当も、平山前会長直々の編集体制から、別処小山田の二人体制で取り組むことに。交代後の初仕事、四苦八苦しながらの編集作業。こんな大変な仕事を平山前会長1人に担って頂いていたのかと、改めてそのご苦勞に感謝！ お見苦しい紙面になったかもしれないがご容赦を。忌憚ないご意見乞う。来年は当会の20周年、記念行事検討中。